

別紙 業務機能一覧

貴社名

必須:実装が必須である機能要件
任意:必須ではないが、可能であれば実装したい機能要件

利用可能なデバイス。
各デバイスに合わせた画面レイアウトやデザインの調整をお願いします。

パッケージの標準機能(パラメータ含む)で対応可:◎
カスタマイズにより対応可:○
一部要件の実現不可:△
対応不可:×

分類	No	機能名	機能概要	補足	必須区分	対応デバイス			充足状況	調達仕様書回答記入欄 備考(前提条件、想定するカスタマイズ内容等)
						PC	タブレット	スマホ		
医療機関 情報更新	1	外来受付時間更新	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関が、基本の外来時間を特定の日のみ変更できること 県民向け検索業務で受付時間を指定して検索する場合に、変更した時間を優先した検索結果を表示できること 休診情報を設定、日ごとに設定情報を削除できること 医療機関がGW等のその他休診日(祝日以外の休診日)の登録・変更・削除ができること 県民向け検索業務(あなたのお近くの医療機関を探す、市町別で医療機関を探す)でその他休診日に該当する日付を指定して検索する場合に、検索結果に表示されないこと 		必須	必須	不要	不要		
	2	外来受付時間更新	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報センターが、医療機関の基本の応需時間を特定日のみ代行で変更できること 県民向け検索業務で受付時間を指定して検索する場合に、変更した時間を優先した検索結果が表示できること 休診情報を設定、日ごとに設定情報を削除できること 医療機関がGW等のその他休診日(祝日以外の休診日)の登録・変更・削除ができること 県民向け検索業務(あなたのお近くの医療機関を探す、市町別で医療機関を探す)でその他休診日に該当する日付を指定して検索する場合に、検索結果に表示されないこと 		必須	必須	不要	不要		
	3	基礎情報管理(自機関)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関が自機関の情報を変更できること 基本情報の確認、連絡先情報の更新、救急対応科目の更新、一斉通報のグループの確認ができること 特殊診療項目を登録できること 		必須	必須	不要	不要		
	4	基礎情報管理(医療機関)	<ul style="list-style-type: none"> 情報センターで案内するために必要な設定を「コールセンター情報」画面で管理できること 応需情報の入力方式を、「手動応需」、「タイマー応需」、「自動応需」から選択できること 応需入力方式は、「別添 応需入力方式」の要件を実現すること 		必須	必須	不要	不要		
	5		<ul style="list-style-type: none"> 入力方式が「タイマー応需」の場合、応需情報入力機能にて、当日の応需終了時刻を設定できること 応需終了時刻には自動で応需対応不可に切り替わること 		必須	必須	不要	不要		
	6		<ul style="list-style-type: none"> 「手動応需」の場合には応需可否を応需情報入力機能から都度登録できること 		必須	必須	不要	不要		
	7		<ul style="list-style-type: none"> 該当医療機関が応需参加機関の場合、診療時間外におけるコールセンターの案内について、番号案内、もしくは三者間案内かを選択できること 		必須	必須	不要	不要		
	8		<ul style="list-style-type: none"> 該当医療機関が応需不参加機関の場合、コールセンターの案内について、番号案内の可否を選択できること 		必須	必須	不要	不要		
	9		<ul style="list-style-type: none"> 応需区分を「対象外」、「応需入力機関」から選択できること 		必須	必須	不要	不要		
	10		<ul style="list-style-type: none"> 入力方式が「自動応需」の場合、曜日ごとに応需可能開始時刻を設定できること 応需可能開始時刻には自動で応需対応可能に切り替えられること 自動終了の有無を設定できること 自動終了有にした場合、応需終了時刻を設定すると、自動で応需対応不可に切り替わること 終了時刻を設定しない場合、現行システムでは診療終了時刻の30分後に応需否となる仕様だがこれを診療終了時刻で応需否となる仕様とすること 							
	11		<ul style="list-style-type: none"> 「大型連休等のみ救急対応可能機関」の場合、大型連休の日付を指定すると、その期間のみ応需対応の可否が設定できること 大型連休の日付を指定した際に、期間内の応需対応の可否をコールセンターの検索結果に反映できること 							
	12		<ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報センターが、医療機関以外の機関情報の新規登録・変更できること 記入者情報、管理者、システム情報、機関名称、所在地、機関の電話番号、連絡先を登録・変更できること 		必須	必須	不要	不要		
	13		<ul style="list-style-type: none"> 県、救急医療情報センターが、「基礎情報管理」で設定した輪番機関の輪番情報(昼間対応か夜間対応か)の登録・削除・確認ができること 登録する時間帯のチェックに応じて登録・削除できること 在宅当番の病院を輪番と同様に一覧で確認できること(輪番のようにカレンダー表示できること) 		必須	必須	不要	不要		
	14	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部と医療機関が、輪番機関と輪番時間を確認し、搬送先を選定する際に利用できること 指定した地域の情報をカレンダー表示し、日付毎に輪番の情報を参照できること 輪番医療機関を地域で絞り込んで検索・参照できること 		必須	必須	不要	不要			
15	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報センター、医療機関が、過去の医療機関応需状況の入力の履歴を参照できること 期間と応需区分(初期応需、二次応需、特殊診療リソース)を指定して検索することができること 各応需状況の情報として、医療機関での手動の入力であるか、システムによる自動応需入力であるかなどのような手段で応需入力したかを入力履歴ごとに判別できること 応需情報の変更タイミングに合わせて応需履歴を更新すること 初期応需、二次応需の履歴照会において、管理者、情報センターは全ての履歴と3者間を除く履歴の2種類の一覧を表示すること。初期表示は全表示とし、表示はボタンで切替えることが可能なこと。 新たに表示が追加となる3者間予約、3者間自動の場合の画面表示名は「3者間」とすること。 初期応需、二次応需の履歴照会において、医療機関の場合は、3者間を除いた履歴の一覧を表示すること。 		必須	必須	不要	不要				

大	分類		No	機能名	機能概要	補足	必須区分	対応デバイス			充足状況	調達仕様書回答記入欄 備考(前提条件、想定するカスタマイズ内容等)
	中	小						PC	タブレット	スマホ		
			17		診療科毎に個別に応需可能な時間を設定できること(複数診療科に分かれている病院などでの運用を想定)		必須	必須	必須	必須		
			18	応需情報入力 ※共通仕様	・応需情報として診療科目と別に応需可能な科目を設定できること(診療科目と応需科目が異なる診療所などでの運用を想定) ※応需可能な科目:急患対応する医師が対応可能な診療科目(専門外であるが診療可能な科目)		必須	必須	必須	必須		
			19		・科目ごと日付ごとに、当直医の登録ができること ・本日の当直医を、現在の応需可否に一括反映することができること ・初期応需・二次応需の可否、当直医の有無、救急空床の有無、特殊診療リソースの使用可否を入力できること ・応需情報を県民向け機能で一般公開するか否かを設定できること		必須	必須	必須	必須		
			20	自動設定(パターン設定)	・基本パターンの応需時間を自動設定できること(医療機関が応需入力を忘れた場合でも、基本パターンの応需時間が設定されている) ・「WEB公開有無」「応需可能科目」「3者間調整の希望有無」や自由入力欄など、応需に関する条件設定(応需条件)を含め、パターンとして設定できること		必須	必須	必須	必須		
			21	臨時休診一括入力	・当日から2ヶ月間以上先までの臨時休診日の設定ができること ・連休の場合でも1画面で設定できること(1日ごとに更新する必要がない) ・月またぎでの臨時休診日の設定を1画面で行えること	・休診日と外来受付時間更新は、救急医療情報システムにて直接入力するため、G-MISからの連携は不要	必須	必須	必須	必須		
	医療機関 向け業務	応需情報 入力	22	応需情報入力(代行)	・救急医療情報センターが、医療機関の代わりにその日の応需情報を入力できること(入力する内容は県民への応需情報公開の有無、初期応需・二次応需の可否、手術の可否、当直医の有無、救急空床の有無、特殊診療リソースの使用可否、臨時休診情報) ・入力した情報をセンターでの医療機関案内や消防本部での搬送先選定時、県民が今すぐ診てもらえる医療機関を検索する際に閲覧できること ・救急医療情報センターが、医療機関の応需入力状況(ON/OFF切替)に関わらず、強制的に変更できること		必須	必須	必須	必須		
			23	応需情報モニター	・消防本部での搬送先選定時やセンターでの医療機関案内時など各医療機関の応需状況を確認できること ・応需区分(初期応需、二次応需、特殊診療リソース)に応じて、医療機関の応需状況を応需の可否に関わらず、地域別に参照できること ・各医療機関の表示時間を設定することで自動的に新しい応需情報を表示できること ・検索画面とは別のモニター画面を開くことができ、複数ウィンドウ画面で常に最新の情報を参照できること		必須	必須	必須	必須		
			24	応需予約入力(代行)	・救急医療情報センターが、医療機関の臨時休診が決まっている場合などに医療機関の代わりにその情報を入力できること ・翌々日本日以降の初期応需情報(県民への公開の有無、応需の可否、手術の可否、備考)及び自動応需登録時間を設定できること		必須	必須	必須	必須		
			25	応需予約確認	・県、救急医療情報センターが医療機関の応需予約の状況(応需情報が切り替わる時間等)を参照できること ・予約情報が正しく登録されているかを確認することができること ・指定した医療機関の応需予約の内容の変更及び削除ができること		必須	必須	必須	必須		
			26		・救急医療機関の場合、応需入力状況をもとに検索し、救急医療機関でない医療機関は診療時間帯で検索した結果をまとめて一覧として表示できること		必須	必須	不要	不要		
			27		応需または診療可能な医療機関であることに加え、「科目」「特診リソース(CCU,NICU,人口透析等)」「地区」「町名」「施設(駅、学校、観光施設等)」「医療レベル(1次、2次、3次)」の条件を指定した検索ができること		必須	必須	不要	不要		
			28		・3者応需や番号応需で3者間対応の場合に医療機関名を入力できること ・医療機関ごとの到着時間を入力できること ・県民、医療機関、消防、警察、すくすく号の区分NOをつけること		任意	必須	不要	不要		
			29		検索した医療機関について詳細情報を確認できること		必須	必須	不要	不要		
			30		地図情報に指定した地点から医療機関までの経路情報が表示できること		必須	必須	不要	不要		
			31		「医療機関の詳細情報画面と経路情報」「医療機関検索結果と地図情報」など地図情報と医療機関の情報が画面上で横に並べて確認できること		必須	必須	不要	不要		
			32		検索した医療機関への電話発信を画面上で行えること		必須	必須	不要	不要		
			33		症状を入力することで症状に応じた診療科目または応需科目を自動判定して検索できること		任意	必須	不要	不要		
			34		検索条件として入力した情報を問合せ対応票のインプット情報として転用できること		必須	必須	不要	不要		
			35		問合せ対応票の情報の一つである県民の電話番号への電話発信を画面上で行えること		任意	必須	不要	不要		
			36		よく使う検索条件パターンを保存し、パターンを利用した検索ができること		必須	必須	不要	不要		
			37		案内可能な医療機関の検索結果一覧画面で、30分毎の応需ON/OFF状況を確認できること(画面切替不要で1画面で確認できる)		必須	必須	不要	不要		
			38		情報センターで利用するPCIに最適化された画面構成を構築していること		必須	必須	不要	不要		

大	分類		No	機能名	機能概要	補足	必須区分	対応デバイス			充足状況	調達仕様書回答記入欄 備考(前提条件、想定するカスタマイズ内容等)
	中	小						PC	タブレット	スマホ		
救急業務	センター 向け業務	応需照 会・案内	39	応需医療機関照会	問合せ対応票管理機能と連携し、医療機関の案内と問合せ対応票の入力を同時に行えること		必須	必須	不要	不要		
			40		「番号案内一覧」と「三者間案内一覧」の、2種類の検索結果画面を切り替えられること		必須	必須	不要	不要		
			41		「番号案内一覧」について、応需参加機関で、指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で初期応需が可能な医療機関を表示できること		必須	必須	不要	不要		
			42		「番号案内一覧」について、応需参加機関で、かつ指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で初期応需が可能であり、かつ指定した科目が検索時点で診療時間外で、かつ診療時間外に番号案内可能である医療機関が表示できること		必須	必須	不要	不要		
			43		「番号案内一覧」について、応需不参加機関で、かつ指定した科目の診療に対応しており、かつ指定した科目が検索時点で診療時間内であり、かつ応需不参加でも番号案内可能な医療機関が表示できること		必須	必須	不要	不要		
			44		「三者間案内一覧」について、応需参加機関で、かつ指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で初期応需が可能な医療機関が表示できること		必須	必須	不要	不要		
			45		「三者間案内一覧」について、応需参加機関で、かつ指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で初期応需が不可であり、かつ検索時点で三者間応需が可能である医療機関が表示できること		必須	必須	不要	不要		
			46		「番号案内一覧」に表示された医療機関について、応需参加機関であり、指定された科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が可能であり、かつ該当科目の診療に対応している場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要		
			47		「番号案内一覧」に表示された医療機関について、応需参加機関であり、指定された科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が可能であり、かつ該当科目の診療に対応していない場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要		
			48		「番号案内一覧」に表示された医療機関について、応需参加機関であり、指定された科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が不可である場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要		
			49		「番号案内一覧」に表示された医療機関について、応需参加機関であり、指定された科目の応需に対応していない場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要		
			50		「番号案内一覧」に表示された医療機関について、応需参加機関でない場合、一目で判別できるようにしたうえで、検索時点で診療時間内か、診療時間が終了間近かを判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要		
	51	「三者間案内一覧」に表示された医療機関について、指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が可能であり、かつ指定した科目の診療に対応している場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要					
	52	「三者間案内一覧」に表示された医療機関について、指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が可能であり、かつ指定した科目の診療に対応していない場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要					
	53	「三者間案内一覧」に表示された医療機関について、指定した科目の応需に対応しており、かつ検索時点で該当科目の初期応需が不可であり、かつ検索時点で該当科目の三者間応需が可能である場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要					
	54	「三者間案内一覧」に表示された医療機関について、指定した科目の応需に対応していない場合、該当科目を一目で判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要					
	55	検索条件入力で、検索時点以降の日時を指定することで、指定日時に対応可能な医療機関を閲覧する「未来案内一覧」を表示できること		必須	必須	不要	不要					
	56	「未来案内一覧」について、応需参加機関であり、かつ応需方式が自動応需であり、かつ指定した科目が検索時点で診療時間内である医療機関を表示できます。		必須	必須	不要	不要					
	57	「未来案内一覧」について、応需不参加機関であり、かつ指定した科目が検索時点で診療時間内である医療機関を表示できること		必須	必須	不要	不要					
	58	「未来案内一覧」に表示された医療機関について、指定した科目が指定した日時で診療時間内か、診療時間が終了間近かを判別できるように表示できること		必須	必須	不要	不要					
	59	「番号案内一覧」、「三者間案内一覧」、「未来案内一覧」で医療機関を複数選択すると、各機関の機関詳細画面を立ち上げると同時に、入力中の問合せ対応票に案内対象機関として即時反映できること		必須	必須	不要	不要					
	60	コメント1, 2内の文章に対し、項目単位でテキストの強調表現ができること		任意	必須	不要	不要					
	61	一覧に表示された各項目で、医療機関をソートできること										
	62	検索条件に新たに特殊診療項目を追加すること		必須	必須	不要	不要					

大	分類		No	機能名	機能概要	補足	必須区分	対応デバイス				充足状況	調達仕様書回答記入欄 備考(前提条件、想定するカスタマイズ内容等)
	中	小						PC	タブレット	スマホ	不要		
			63		「応需医療機関照会」で保存した問合せ対応票のインプット情報を引用して登録できること		必須	必須	不要	不要			
			64		問合せ対応票として県民から聞き取った情報を入力し、それを基に応需可能な医療機関を検索できること		必須	必須	不要	不要			
			65		コールセンターが受け付けた問合せ元の県民の電話番号を問合せ対応票に自動反映できること		任意	必須	不要	不要			
			66		情報センターで利用するPCに最適化された画面構成を構築すること		必須	必須	不要	不要			
			67		応需医療機関照会機能と連携し、医療機関の案内と問合せ対応票の入力を同時に行えること		必須	必須	不要	不要			
			68		ログインしたユーザの名前が、自動的に案内者として表示できること		必須	必須	不要	不要			
			69		現在通話中の電話番号に紐づく過去の履歴のうち、最新の情報が自動的に反映できること		必須	必須	不要	不要			
			70	問合せ対応票管理 ※問い合わせ管理表の対応項目は、原則 現行と同等のものとする	患者のいる地名が不明な場合は、施設を選択して指定できること		必須	必須	不要	不要			
			71		患者の症状を聞き取り、入力する。症状を入力すると、症状と紐づく科目が自動反映できること		必須	必須	不要	不要			
			72		・患者の情報を収集し、必要に応じて汎用項目を選択できること ・汎用項目は、汎用項目登録機能から登録できること		必須	必須	不要	不要			
			73		入力した情報をもとに、医療機関検索ができ、応需医療機関照会機能を立ち上げできること		必須	必須	不要	不要			
			74		応需医療機関紹介機能で3つまで選択した医療機関が、案内先として問合せ対応票に自動反映できること		必須	必須	不要	不要			
			75		三者間案内の場合、医療機関へ電話発信すると、交渉ステータスが医療機関ごとに自動反映できること		必須	必須	不要	不要			
			76		県民との通話が終了したら、最終的な案内結果を入力できること		必須	必須	不要	不要			
			77		情報センターで利用するPCに最適化された画面構成として構築すること		必須	必須	不要	不要			
			78	問合せ対応票検索	・問合せ対応票として登録した内容を、問合せ日時・対象者の所在地・電話番号等から検索できること ・問合せ対応票検索結果から一件選択すると、該当する問合せ対応票の修正画面を表示できること		必須	必須	不要	不要			
			79	オペレータ管理	・スーパーバイザーの端末から任意のオペレーターの画面を呼び出し、参照及び入力操作ができること ・入力操作において、スーパーバイザー・オペレーター双方とも操作可能であり、スーパーバイザー側で操作する場合も、入力操作に時間がかからない操作性をもつこと		必須	必須	不要	不要			
	消防機関 向け業務	搬送先選 定	80	他県救急応需照会	・消防本部が和歌山県への搬送先選定や救急医療情報センターが県民へ案内する医療機関を選定する際、和歌山県救急医療情報システムにおける医療機関の応需状況を、一定の条件(地域、科目等)を設定して参照できること(リンク接続) ・搬送を要請する場合の連絡先を表示できること ・和歌山県の近隣地域の消防本部からも三重県内の医療機関の応需情報を参照できること ・ログイン操作なく和歌山県救急医療情報システムの応需状況照会メニューにリンク接続できること(※セキュリティについては要考慮)		任意	必須	不要	不要			
			81	病診連携照会	・消防本部が搬送先の選定時に利用できること ・医療機関を選択して、診療科目毎に曜日・時間帯別の担当医の情報を参照できること		任意	必須	不要	不要			
			82	一斉受入要請	・消防本部が搬送先の選定時に利用できること ・医療機関を選択して、診療科目毎に曜日・時間帯別の担当医の情報を参照できること		任意	必須	不要	不要			
			83	一斉受入要請回答	一斉受入要請に対する回答を医療機関が入力できること		任意	必須	不要	不要			
	県民向け 業務(救 急医療情 報ネット)		84	今診でもらえる医療機関を探す	・応需情報として保持している「県民への応需情報公開の有無」が「有」で設定されている医療機関を検索した結果が表示できること		必須	必須	必須	必須			
			85		検索結果の一覧画面で外来診療時間に変更があった場合、外来診療時間変更内容を表示するリンクを表示できること		必須	必須	必須	必須			
			86	こどもの病気・ケガ	小児科、小児外科等の病院・診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
			87	急な病気	内科、呼吸器科、消化器科等の病院・診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
			88	ケガ	外科、整形外科等の病院・診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
			89	女性のケア	産婦人科等の病院・診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
			90	眼・耳・鼻・皮膚の病気・ケガ	眼科、耳鼻咽喉科等の病院・診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
			91	歯科	歯科診療所の一覧を表示できること		必須	必須	必須	必須			
	県民向け		92		表示掲載期間を事前に登録できること		必須	必須	必須	必須			
			93	県民向けお知らせ	ファイルを添付すること(携帯以外)		必須	必須	必須	必須			
			94	サイトについての意見	県民が問い合わせフォームから送信した内容を、指定したメールアドレス宛に送付できること		必須	必須	必須	必須			
			95	救急医療機関参加申し込み	救急医療機関参加申請フォームから送信した内容を、指定したメールアドレス宛に送付できること		必須	必須	必須	必須			

分類	No	機能名	機能概要	補足	必須区分	対応デバイス			充足状況	調達仕様書回答記入欄 備考(前提条件、想定するカスタマイズ内容等)
						PC	タブレット	スマホ		
業務(その他)	96	関連サイト(リンク集)	リンク集を表示できること		必須	必須	必須	必須		
	97	AEDマップ	全国のAED設置情報を表示できること		任意	必須	必須	必須		
	98	電話・FAX案内サービス	・市町、科目、案内方法を選択し、音声またはFAXで対象の医療機関情報を取得できること ・電話・FAX案内サービスなどの電話番号及び説明を表示できること	救急医療情報センターへの電話転送機能は不要	必須	必須	必須	必須		
	99	救急医療情報センター案内リンク	県民それぞれの地域の「救急医療情報センター」の電話番号を表示できること		必須	必須	必須	必須		
地域災害	100	広域災害救急医療情報登録(EMIS利用)	・リンク接続時に、三重県救急医療情報システムのログイン情報を引き継いで接続できること ※セキュリティについて要考慮	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	101	搬送受入れ情報入力(医療機関入力用)	・医療機関が、地域的な災害発生時に支援情報として症状別に搬送受入が可能な人数を入力できること ・登録した情報は搬送受入れ情報モニター、搬送受入れ情報照会で参照することができ、この情報をもとに消防本部が搬送先を選定できること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	102	搬送受入れ情報代行入力	・県(主として保健所)等が、地域的な災害発生時に、情報入力できない医療機関に代わって、支援情報として医療機関の、症状別の搬送受入可能人数を代行入力できること ・登録した情報は搬送受入れ情報モニター、搬送受入れ情報照会で参照することができ、この情報をもとに消防本部が災害時の搬送先を選定できること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	103	搬送受入れ情報モニター(消防本部閲覧用)	・消防本部が地域的な災害発生時に、医療機関状況を確認して搬送先選定時に利用できること ・医療機関の受入可能人数等の情報を、受入可否に関わらず参照できること ・表示時間を設定することで自動的に新しい情報を表示することができ、また、検索画面とは別の画面(ウィンドウが)でモニター画面を開き、モニター画面を開いたままでも常に最新の情報を参照できること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	104	搬送受入れ情報照会(管理業務)	・県・救急医療情報センターが地域的な災害発生時に、医療機関状況を確認・把握するために利用できること ・医療機関の受入可能人数等の情報を、症状別に受入可能かどうかなどの条件を設定して検索できること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	105	搬送受入れ情報集計(管理業務)	・県・救急医療情報センターが地域的な災害発生時に、医療機関状況(二次医療圏ごとの医療機関数・入力機関数・未入力機関数・入力率・受入可能患者数)を確認・把握するために利用できること ・搬送受入れ情報入力の入力率や合計などを集計したデータを参照することができ、災害対策に活用できること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	106	災害運用切替	・県が、自県の災害状況を通常時・災害・災害支援・警戒・訓練・災害支援訓練モードのいずれかに切り替えができること	・三重県にて、E-MISで実働しているため、現行業務への影響がない場合については、廃止も検討	任意	必須	不要	不要		
	107	グループ登録	・救急医療情報センターが、一斉通報を行う対象のグループの新規登録・情報変更・削除できること ・通報可否・災害自動通報可否を設定できること		任意	必須	不要	不要		
その他	108	祝日管理	・救急医療情報センターが、今年から5年後までの祝日・休日の設定を行うために利用できること ・年末・年始等の休日を設定できること		必須	必須	不要	不要		
	109	検索項目管理	・「応需医療機関検索」の検索項目である「町名」「施設名」等について新規登録、変更、削除できること ・「町名」「施設名」等の地図情報の登録、変更、削除できること ・症状を入力することで症状に応じた診療科目または応需科目を自動判定するための症状と科目のマッチングパターンを新規登録、変更、削除できること		必須	必須	不要	不要		
	110	帳票・データ出力	・救急医療情報センターが、医療機関の医療機能情報などのCSVデータや応需状況の分析等を行うための年月別の統計帳票ファイル(エクセル形式)を出力し、ダウンロードできること		必須	必須	不要	不要		
	111	お知らせ管理	・県・救急医療情報センターが、長期休暇時の応需入力についてなどのお知らせを新規登録・内容更新・削除できること ・県民向けトップメニュー用、関係者メニュー用をそれぞれ登録できること (重要なお知らせも登録可能)		必須	必須	不要	不要		
	112	一斉通報	・県、救急医療情報センター、消防本部が、大規模な事故や災害発生時等において、緊急で多数の傷病者を医療機関へ搬送時、通常のお知らせに利用できること ・通報先、通報手段(メール・FAXの両方またはいずれかを選択可)、通報内容等を設定し、一斉通報宛先管理にて登録されている連絡先に通知できること		必須	必須	不要	不要		
	113	パスワード設定票発給	・救急医療情報センターが、パスワード設定票を表示・印刷できること ・パスワード紛失が発生した場合などに、印刷したパスワード設定票を送付できること		必須	必須	不要	不要		
	114	パスワード変更	・全てのシステム利用者が、ログイン時に使用するパスワードを変更できること(セキュリティを考慮し、定期的にパスワード変更の連絡がくること)		必須	必須	不要	不要		
	115	リンク集	・全国の救急医療情報システム、三重県、県医師会、県歯科医師会、郡市医師会、歯科医師会支部へのリンク先が表示されること		必須	必須	不要	不要		
	116	汎用項目登録	・コールセンターシステムの検索条件とする汎用項目を登録できること ・汎用項目名を変更できること ・汎用項目の追加登録を可能とすること ・汎用項目の表示、非表示を設定できるとし、表示数は最大5項目を上限とすること		必須	必須	不要	不要		
	117	医療機関詳細情報表示(全国)	各機能の医療機関リンクから、全国の医療情報ネットの医療機関詳細画面を表示できること。		必須	必須	不要	不要		
	118	G-MIS連携	G-MISの医療機能情報の内、本システムに必要な項目の取組を行うこと。なお取込方式についてはG-MISのIF仕様書、全項目CSVデータ連携機能に準拠すること。		必須	必須	不要	不要		